

はじめに

平成16年10月に薩摩川内市が誕生し、早くも15年が経過いたしました。この間、九州新幹線の全線開通、川内・甕島航路の開設、甕島の国定公園指定、南九州西回り自動車道川内隈之城道路の開通、樋脇グラウンド・ゴルフ場のオープン、東郷学園義務教育学校の開校など、本市のまちづくりは大きく進展しております。また、南九州西回り自動車道阿久根川内道路、川内川市外部改修、甕大橋などの大型プロジェクトも推進されています。



一方で国内においては人口減少、急速に進む少子化や人生100年時代の到来、外国人労働者受入れなどのグローバル化の進展、AI・IoTなどの技術革新、さらには頻発する大規模自然災害の発生など、今後の自治体運営に大きな影響を与える局面を迎えております。

このような状況を踏まえ、この度、将来世代にわたって安全で暮らしやすい生活環境と充実した行政サービスを提供できる、「持続可能なまちづくり」を念頭に、「薩摩川内市立地適正化計画」を策定いたしました。この計画は、設定した誘導区域内へ、住宅や医療・福祉・商業などの都市機能を、適切かつ長期的視点でゆるやかに誘導することとし、生活に必要な機能や人が集まる、便利で暮らしやすい拠点の形成を図ることで、本市を取り巻くさまざまな課題を解決していくことを目的としています。

なお、本計画は、おおよそ20年後を見据え、将来の目指すべきまちづくりの方向性を体系的にまとめて策定した「薩摩川内市都市計画マスタープラン」に沿って検討され、併せて、国の都市再生特別措置法改正による「立地適正化計画」の制度化を受け、策定されたものであります。

今後、本計画をまちづくりの指針とし、市民の皆様方と互いに協力しながら、都市の均衡ある発展を図ってまいりたいと考えておりますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、住民アンケート調査、パブリックコメントや地域住民ワークショップにおいて、本市が抱える都市計画上の課題等に対する貴重なご意見やご提言をいただきました市民の皆様をはじめ、ご助言・ご指導賜りました策定委員などの皆様方に対しまして、心から感謝と御礼を申し上げます。

令和2年3月

薩摩川内市長 岩切 秀雄